



ハメ ドウースト



みんな ともたち!



Tehran
Japanese
School

学校便り「ハメドースト」
2022年度 第1号
2022年5月5日発行

7名の確かな成長のために

～ 2022年度のスタートにあたって ～

テヘラン日本人学校 校長 橋詰 典明

「新しい友だちがきて、楽しくなった。遊びの時も人が増えたのでよかった」「久しぶりのイラン、久しぶりのイランの友だちにあえてうれしかった」「ちょっと勉強は難しくなった。クラスの人数が増えて楽しい」

「楽しい。特に体育が楽しい」「中学部に入学して大変かと思ったけど、



クラスの人数も増え、学校の人数も増え、楽しく生活できている」「新しい学年にあがってちょっと緊張しているが、前より楽しい」「新しい友達に来てうれしい。一緒に遊んでいると2倍楽しい」

新年度が始まっておよそ1か月。児童生徒はどんな思いをもって生活しているのか、一人一人に聞いてみて、こうして列挙してみると、幾つもの共通点がわかると思います。まずは、仲間が増えたことで喜びを感じていることでしょうか。現在のような小規模の学校でなければ、あまり実感しないことかもしれませんが、2名増えたことがみんなにとっては喜びでありうれしいことだということが、表情からもうかがえました。



【5月行事予定】

- 1日 断食月ラマダン(終)
- 2日 エイデ・フェトル
- 3日 エイデ・フェトル
- 5日 全校朝会
- 9日 集会 部活動
- 10日 テニス学習①
- 11日 定例職員会議
- 16日 クラブ活動
- 17日 テニス学習②
- 23日 委員会
- 24日 テニス学習③
- 26日 第6エマーム殉教日
- 31日 宿泊学習



一人の人の存在の重み、一人一人がかげがえのない大切な存在であることをしっかりと実感できるというのは、小規模校ならではの効果ではないかと思いました。ぜひとも児童生徒の心の中で、大切に育んでいきたい心ではないかと感じました。

もう一つ子供たちの話から感じられたことは、学年が一つ上がったことに対する自覚が見られるということです。この自覚こそが、これからの子供たちの成長にとって欠かせない意識ではないかと思っています。何となく一学年上になったというのではなく、「ちょっと勉強が難しくなった」とか「新しい学年になって緊張している」といった意識を持つことが、今後の成長への足がかりになることと思っています。こうした子供たちの成長へとつながる自覚や意識をいかに引き出して確かな成長へとつなげていくか。私たち教職員は、テヘラン日本人学校の児童生徒7名の確かな成長のために一丸となって力を尽くしていきますので、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

希望で胸いっぱいにして

4月12日に小学部 ☆☆2022年度 入学式☆☆

1名、中学部1名の入学式が挙行されました。新校舎で迎えた初めての入学式。新入生の初々しい姿から会場は自然と和やかな雰囲気の中で式は進行していきましました。新入生が伸び伸び、生き生き活動できる学校にしたい。そんな思いを共有できた入学式でした。



よろしくお願ひします

2022年度派遣教員 星野光子教諭

今年度東京都より派遣されてきました星野光子です。テヘランに決まったときは、イランについての情報が少なく、イスラム世界での生活に不安な気持ちのほうが大きかったですが、来てみると素敵どころがたくさんあって、イランに来ることができた幸運を感じています。何よりも、素直で前向きに頑張る子供たちと、親身になって温かく支えてくださる保護者の皆さまと出会えたことに一番の幸福を感じております。子供たちにとって楽しい学校生活となるように努めます。どうぞよろしくお願ひいたします。

